

重点15 学校経営の充実

各学校では、「学校教育指導方針」をもとにして、「学校づくりビジョン」の策定、「学校の自己評価」の実施に取り組んでいます。これらの取組全体を「学校経営手法の診断」によって経営手法の課題を明らかにして改善することが重要です。

以上の『学校づくりビジョン策定と自己評価のサイクル』と「学校経営手法の診断」をあわせて『学校経営評価』とよんでいます。この『学校経営評価』システムを市内のすべての小中学校において進めるためには、まずリーダーである校長・教頭の理解と協力が必要です。さらに教務主任等の学校のリーダーとなる教職員にも浸透させ、各学校で本格実施を図ります。

めざす姿

「めざす学校像」の実現のため、各学校が学校経営評価により自校の「学校経営」について継続的に診断・評価し、自校の「強み」・「弱み」を明らかにして取り組んでいます。



主な施策

各学校で、学校経営についての評価を実施し、学校づくりビジョンに沿った教育を組織的に行えるように、常に改善に努めます。 【 202】

学校自己評価、学校関係者評価の仕組みを整え、第三者評価についての検討を加えながら、四日市市における学校評価システムを構築します。 【 613】

四日市市学校教育ビジョンを策定して、めざす子ども像を実現するため、計画的に教育委員会の施策を実施するようにします。 【 616】

学校教育指導方針を策定し、各学校においてめざす子ども像を実現するための教育活動を行います。 【 616】

四日市市学校経営方針を策定して、各学校が自らの取り組みを継続的に評価診断しつつ、効果的に学校経営を推進していくための方針を示します。 【 616】

四日市市学校教育白書を編集して、四日市市学校教育ビジョンの諸政策の進捗状況を評価し、広く市民に向けて情報発信を行います。 【 616】

評価の方法

学校経営手法の診断の教職員・保護者等の満足度に関する項目

目標

「3以上の学校」= 80%